

みんなの議会 おおさと

定例会

12月 3月

9月 6月

町花：つつじ

令和4年8月1日

NO.207

ワン・ツー・スリー・フォー♪

(おおさとHIPHOPダンススクール)

- P.2 令和4年度補正予算
- P.4 議会基本条例・議員定数
- P.7 一般質問
- P.12 第2回・第3回臨時会
- P.15 追跡レポート

復興まちづくり事業 1億9984万円



- ・防災避難緑地造成工事等 1億2394万円
- ・防災コミュニティセンター建築設計業務 560万円
- ・屋外避難施設建築設計業務 2586万円
- ・附属棟施設建築設計業務等 594万円
- ・地域活性化拠点調査設計業務 (かわまち事業) 3850万円

6月定例会が6月7日～10日に開催され、一般会計は3億5255万2000円を追加し、歳入歳出それぞれ総額55億3985万7000円となりました。国民健康保険特別会計は15万9000円を追加し、歳入歳出それぞれ総額9億9145万5000円となりました。

その他の補正予算

一般会計	
町道改良舗装工事 (土橋・明ヶ沢線、大郷小学校前歩道設置)	2146万円
土地購入費 (大郷小学校前)	43万円
ため池等フェンス設置工事 (ため池フェンス設置、川内地区スクールバス停付近の河川)	509万円
解体撤去等工事 (旧大松沢公民館フェンス)	214万円
国民健康保険特別会計	
令和3年度分医療費確定	16万円

新型コロナ関連経費

5500万円 臨時特別給付金事業等

非課税世帯等（家計急変世帯を含む）を対象とし、1世帯あたり10万円を給付する。課税状況が確定した段階でお知らせする。令和3年度に支給された方は対象外。

940万円 事業継続支援交付金

令和4年1月～6月の月平均売上を令和元年1月～6月と比較し20%以上減少した中小企業者等を対象とする。1件あたり10万円。

600万円 子育て世帯生活支援特別給付金

令和4年4月分の児童手当または特別扶養手当の受給者で、令和4年分の住民税が非課税の方が対象。児童1人あたり5万円。令和3年度に支給された方は対象外。

1371万円 予防接種業務

今後行われる新型コロナウイルスの4回目接種の経費。

337万円 保育士・幼稚園教諭等処遇改善事業費補助金



保育士等の収入を約3%引き上げるための処遇改善の費用。先生方は全員対象となっている。

172万円 公共施設災害復旧工事



文化会館の落下した天井
修繕箇所は文化会館の天井等、フラップ大郷21の玄関タイル等、大松沢社会教育センター体育館ステージ裏の屋内通路。

議員定数2名削減 11対1 可決

議会改革調査特別委員会の中間報告を受け、議員発議により可決した。
この定数条例は、令和5年の改選期から適用する。

大郷町議会議員 提出者 和賀直義 (適正な議員定数に関する分科会座長)
賛成者 大友三男 佐藤千加雄 高橋重信 石垣正博 石川壽和

一 討論 一

〔提案理由〕 本町の人口、議員定数の履歴、本会議・常任委員会の討論できる人数、同規模自治体の定数、政策立案と町政運営に対する監視機能と定数、多様な町民ニーズを反映できる定数、人口と町財政状況など、総合的に検討し現下の本町を取り巻く諸情勢、とりわけ厳しい財政事情等を考慮し、町民の皆様から負託を受けた議員として、現状を重く受け止め議員自らが目に見える形で姿勢を示す。

反対 千葉 勇治議員

町民に何も相談せず、削減を決めることは極めて問題がある。12月までに結論を出しても、改選期には間に合う。

賛成 高橋 重信議員

定数2減を全員一致でやってほしいとの町民の声がある。

定例会

定数削減審議などの経過

平成31年3月定例会で町民からの直接請求による2名削減案を否決し、令和2年12月定例会では町民からの直接請求の4名削減案と、修正案の2名削減も否決した。
令和元年の改選後設置された議会改革調査特別委員会にて今日まで、審議を重ねてきた。

「適正な議員定数に関する調査分科会」の最終報告

結論：望ましい議員定数は、12名とする。
理由：1. 町民は、議会自らが議員定数を検討・削減することを望んでいる。改選の少なくとも1年位前に決定し、立候補者にアナウンスも必要。
2. 令和2年の特別委員会より既に議論されており、早期に具体的定数を決定すべきだ。



▲適正な定数に向け視察 (色麻町)

令和4年	
第12回 1月24日	タブレット研修会 小委員会
1月31日	基本条例分科会
2月15日	基本条例分科会
2月24日	基本条例分科会
3月11日	各分科会報告
3月14日	定数分科会
3月16日	定数分科会
3月30日	定数分科会
4月7日	基本条例分科会
4月11日	各分科会報告
4月25日	各分科会報告
第15回	

※定数分科会：適正な議員定数に関する調査分科会
※基本条例分科会：議会基本条例に関する調査分科会

議会改革調査特別委員会

中間報告

調査の経過

- ①議会基本条例に関する調査について
議会の果たすべき役割と責任がますます重大になっていくことなど議員自らが議員としての自覚と見識をもって、町民に開かれた議会の実現を目指し、「議会や議員の活動原則」「議員相互の自由な議論」などを条例に盛り込み、また、町民に対する議会報告会の開催や議会からの政策立案及び提案を推進するとともに、請願や陳情の委員会審査の際に提出者の意見陳述の機会を確保するなど、町民の皆さんが議会の審議に参加する機会の確保についても条例化を図るものとした。
今後、この条例に沿った活動を行っていくことにより、議会の活性化を図り、町政の発展と町民福祉の向上に寄与するものである。
- ②適正な議員定数に関する調査について
本町の人口、議員定数の履歴や常任委員会中心制、本会議中心制の討論できる定数、政策立案できる定数、同規模自治体の定数、町政運営に対する監視機能強化と定数、多様な町民ニーズを町政に反映できる定数、町財政状況と定数など、各角度から検討を加えた結果、議員定数は12名が妥当としたものである。
- ③議会の「1人1票」に関する調査について
タブレット導入を検討し、コスト削減また町民に開かれた議会として議員活動する目的として検討継続中である。

議会改革調査特別委員会

委員長 千葉 勇治

議会基本条例制定 全会一致 可決

大郷町議会議員 提出者 熱海文義 (議会基本条例に関する調査分科会座長)
賛成者 田中みつ子 若生 寛 石川壽和 千葉勇治



▲基本条例制定に向け視察 (美里町)

〔提案理由〕 この条例は、二元代表制の下、議会の基本理念、議員の責務及び活動原則等を定め、合議制の機関である議会の役割を明らかにするとともに、議会に関する基本的事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づく町民の負託に的確にこたえ、もって町民福祉の向上及び町政の伸展に寄与することを目的とします。

議会改革について

回・日程	議題
令和元年	
第1回 (議会改革調査特別委員会の開催回数)	10月4日 正副委員長の互選
第2回	12月6日 議員の倫理
令和2年	
第3回	1月28日 小委員会の設置
第4回	2月26日 小委員会
第5回	3月5日 検討事項
第6回	8月13日 議会改革 小委員会
第7回	8月27日 小委員会
第8回	9月8日 小委員会のまとめ
第9回	9月28日 議員定数について (大衡村・色麻町視察)
第10回	10月6日 取り組み状況 小委員会
第11回	11月18日 小委員会
令和3年	
第12回	11月24日 今後の議会改革 小委員会
第13回	12月24日 小委員会
第14回	2月24日 委員会の運営 (分科会の設置)
第15回	7月9日 基本条例分科会※ (大衡村・美里町視察研修)
第16回	7月14日 小委員会
第17回	8月6日 各分科会報告
第18回	9月28日 定数分科会※
第19回	12月7日 定数分科会
第20回	12月7日 各分科会報告



おおも 大友 三男 議員

ため池の事故防止策は 未然防止に努める(町長)

問 2013年東成田のため池で、死亡事故が発生してから現在まで、どのような安全対策を行ってきたか。

答 町長 町職員や関係機関による点検、フェンスや看板設置を行った。

問 過去にゴム製遮水シートが設置されている場所で死亡事故があった。その後の対策が見受けられないが、

答 町長 フェンスを乗り越えて事故に遭ったということで、町の過失ではないかと思っている。危険の標識を無視した事故の責任は取れない。

問 栗原市のため池で、小学生の痛ましい事故の報道を受け、今後どのような事故防止策を講じるのか。

答 町長 子どもたちが危険な場所に近づかないよう、

町有地の使用賃借は

問 町有財産(土地・建物)を民間に無償で貸し付ける場合、費用対効果を精査検証してから契約するのが、通常の手続きと考えるか。

答 町長 安全に管理されるよう、あらゆる機会を捉えながら指導していきたい。

問 民間開発に伴う調整池や沈殿池の事故防止の観点から、点検指導が必要ではないか。

答 町長 安全に管理されるよう、あらゆる機会を捉えながら指導していきたい。



▲対策が必要なため池

問 町有財産(土地・建物)を民間に無償で貸し付ける場合、費用対効果を精査検証してから契約するのが、通常の手続きと考えるか。

答 町長 安全に管理されるよう、あらゆる機会を捉えながら指導していきたい。

問 民間開発に伴う調整池や沈殿池の事故防止の観点から、点検指導が必要ではないか。

答 町長 安全に管理されるよう、あらゆる機会を捉えながら指導していきたい。

問 普通財産使用賃借契約書などの公文書として、しっかりしたもの(後世に残さなければ、将来問題が発生した場合、10年後、20年後契約を交わした当事者がいなくなったとき、誰に最終処理させるのか)。

答 町長 全ての職務権限のある人が、責任を取る。

報告第7号〜11号
年度内の事業完了が困難になったことにより、次年度に繰越になったことの報告。主な要因は新型コロナウイルスの影響によるもの。



▲補助により導入した農業機械

【議案第45号】大郷町農業振興基金条例の廃止
農業振興基金は平成25年度に創設され農業振興に資する補助金として活用してきたが、残額がなくなったため廃止するもの。

問 今後の対応はどのようなものか。

答 農業振興総合補助金として予算に計上する。

議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	報告のみ													
			吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦
第2回定例会	報告 報告第7号〜11号															
	大郷町農業振興基金条例の廃止について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	補正予算 一般会計(第2号) 55億3985万円(3億5255万円↑)	可	○	○	○	●	早	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計 国民健康保険(第1号) 9億914万円(16万円↑)	可	○	○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議発第2号 大郷町議会基本条例の制定について	可	○	○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議発第3号 大郷町議会議員定数条例の一部改正について	可	○	○	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席 早:早退
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

次ページから一般質問

ただ 5名が町政を質す!



質問議員	質問件名	掲載ページ
おおも 大友 三男 議員	1. 本町に点在するため池などの安全対策について 2. 大郷町所有の普通財産使用賃借について	P. 7
いしがき 石垣 正博 議員	1. 公衆用道路の維持管理について 2. (株)おおさと地域振興公社の財務内容について	P. 8
わが 和賀 直義 議員	1. 物価高騰から生活を守る経済対策等について 2. ウクライナ避難民への人道支援について 3. コロナのワクチン接種について	P. 9
ちば 千葉 勇治 議員	1. 地域再生計画について 2. 教職員の労働実態について 3. 子どもの朝食欠食実態調査について	P.10
あつみ 熱海 文義 議員	1. 小・中学校のコロナ対策について 2. 作付していない畑について	P.11



議員 直義 和賀

物価高騰から生活を守る対策を！

支援策の検討を開始（町長）

問 コロナ禍の長期化、円安、ウクライナ危機による物価高騰が現実化している生活を守る具体的生活支援策は。

答 町長 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が交付されることになっている。支援策の検討を始めたところであり、決定後に報告する。

問 生活困窮者や低所得の子育て世代に対する経済支援策の拡充を図りたい。

答 町長 支援策の検討の中で、総合的に判断していく。

問 適切な栄養の摂取による健康の保持増進のため、食料費の高騰をカバーする学校給食への予算措置を。

答 町長 食料は全般的に値上がりしている。不足が見込まれる場合は、食料料

問 仮称「大栄団地」（中村屋敷前）は昭和60年7月9日に町が同意（開発行為に対して）をしている。道路の老朽化で大変な状況下にある。救済が必要ではないか。

答 地域整備課長 要綱に合致する路線であれば、町道認定は可能と思うが、幅員（道路）等の要件があり厳しい状況。

問 町の道路に関する要綱は3つ、全て平成4年4月1日に施行。しかし団地は昭和60年代に開発している。要綱が出来る前に開発しており、何か方法があっても良いのでは。

答 まちづくり政策課長 都市計画法等の規定の中で指導していく。以前のものについては、照らし合わせて対応する事が、難しい場面もある。



議員 正博 石垣

公衆用道路の法制化を

都市計画法等に基づき行っている（町長）

問 中村地区内で以前開発した公衆用道路部分が、開発後に倒産した業者の名義となっていた。

答 町長 既に完了の報告が出た段階で、開発業者が道路部分を町に寄附採納するよう指導すべきではなかったのか。

問 町長 都市計画法などに基づき適切に行っている。事業者から、宅地造成開発計画の事前協議があった場合、多方面にわたる指導を行っている。

問 公衆用道路について、要綱なり条例が必要では。

答 まちづくり政策課長 開発指導要綱で、公共施設は原則として無償で町に帰属し、町管理にするよう定めており、その要綱を運用している。

問 仮称「大栄団地」は昭和60年7月9日に町が同意（開発行為に対して）をしている。道路の老朽化で大変な状況下にある。救済が必要ではないか。

答 地域整備課長 要綱に合致する路線であれば、町道認定は可能と思うが、幅員（道路）等の要件があり厳しい状況。

問 町の道路に関する要綱は3つ、全て平成4年4月1日に施行。しかし団地は昭和60年代に開発している。要綱が出来る前に開発しており、何か方法があっても良いのでは。

答 まちづくり政策課長 都市計画法等の規定の中で指導していく。以前のものについては、照らし合わせて対応する事が、難しい場面もある。



▲町へ寄附採納した公衆用道路（中村地区）

問 仮称「大栄団地」は昭和60年7月9日に町が同意（開発行為に対して）をしている。道路の老朽化で大変な状況下にある。救済が必要ではないか。

答 地域整備課長 要綱に合致する路線であれば、町道認定は可能と思うが、幅員（道路）等の要件があり厳しい状況。

問 町の道路に関する要綱は3つ、全て平成4年4月1日に施行。しかし団地は昭和60年代に開発している。要綱が出来る前に開発しており、何か方法があっても良いのでは。

答 まちづくり政策課長 都市計画法等の規定の中で指導していく。以前のものについては、照らし合わせて対応する事が、難しい場面もある。

ウクライナ避難民への人道支援

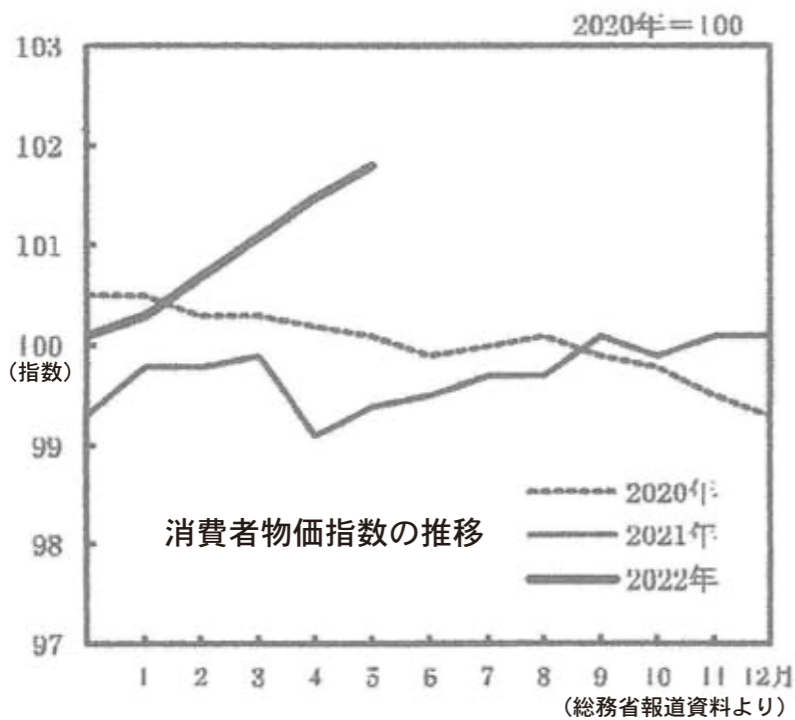
問 ウクライナ難民等が我が町を避難地にした場合、生活に係る経費、医療、住宅、就労、日本語教育などの支援は検討されているのか。

答 町長 県で、生活相談窓口を開設している。避難者がいた場合には、国や県と協議・協力しながら、できる限りの人道的な支援を行う。

コロナワクチン接種

問 コロナワクチンの3回目接種状況と4回目のワクチン接種の取り組み・スケジュールは。

答 町長 5月末現在で対象者の68%が接種済みである。4回目の取り組み・スケジュールは、個別接種を基本とし、黒川医師会と連携しながら、取り組んでいく。60歳以上の方の接種は、5月25日から開始している。



問 4回目接種は重症化リスクの低減が目的である。60歳以下の既往歴のある方への周知は。

答 保健福祉課長 案内を送付し、該当する場合に申請していただく。

問 若年世代の接種加速化を図るべきでは。

答 町長 2回目までの接種率が20歳以上の年代で8割を超えている。3回目接種も進むものと思っており、動向を注視していく。

問 早期の感染発見のため、検査体制環境をつくるべきでは。

答 町長 県内127カ所で県の無料検査実施事業所が開設されている。本町には設置されていないが、近隣市町で多くの検査センターがあるので、ご利用いただきたい。

一般質問

一般質問



あつみ よしき 議員
熱海 文義

小・中学校に空気清浄機を

必要ならば検討する(町長)

問 全国のコロナ感染が少しずつ減っては来ているがまだ高い水準で推移している。

答 本町でも1、2人と感染者が出ている状況でこれから夏の小・中学校で夏の授業時エアコンを使用すると思うが、その時は窓を閉め切っているので換気が悪い状態になる。そこで教室ごとに空気清浄機等を設置する考えはないのか。

答 教育長 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、夏場のエアコンや冬場のヒーター使用時も教室等の常時換気を行っている。また、二酸化炭素濃度測定器の設置や1時間1回程度は対角線上の2カ所窓や扉を開けて空気の入れ替えもしており、現時点で空気清浄機の設置

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。

問 食料価格高騰で再生産する元気に陰りが生じかねない状況だ。飼料価格高騰対策を求めたい。

答 町長 物価高の影響は畜産農家だけではなく町民全てであり、全町民対象に支援策を検討していきたい。畜産農家はもつと自給飼料をつくる努力をする覚悟が必要だ。



ちば ゆうじ 議員
千葉 勇治

「地域再生計画」は

詳細な内容は示していない(町長)

問 「地域再生計画」にある旧櫻井家住宅や中粕川地区を生かした観光戦略について詳細な説明を。

答 町長 町の観光資源の掘り起こしとさらなる磨き上げを行い、活性化を図ることを目標とした「大枠としての計画」であり、詳細な内容は示していない。

問 観光資源として既に町にあるものを挙げてほしい。

答 まちづくり政策課長 町内にある全てが観光資源の対象で、今回の計画はあくまで大枠。これから可能性の花を開かせていく。

問 中粕川地区の一角を活用した「かわまちづくり」事業も「大郷地域再生計画」の柱の一つに位置付けられているが、計画申請を国に出す予定は。

答 復興推進課技監 国土

問 先生方のサービスマン残業解消策についての具体的取り組みは。

答 教育長 コロナ禍の影響もあり、労働時間の上限を超える教職員もいるが、長期休業期間中の学校閉庁日を設定したり、ICT活用で会議時間の短縮や業務改善も図られており、今後

問 先生方のサービスマン残業解消策についての具体的取り組みは。

答 教育長 コロナ禍の影響もあり、労働時間の上限を超える教職員もいるが、長期休業期間中の学校閉庁日を設定したり、ICT活用で会議時間の短縮や業務改善も図られており、今後

問 先生方のサービスマン残業解消策についての具体的取り組みは。

答 教育長 コロナ禍の影響もあり、労働時間の上限を超える教職員もいるが、長期休業期間中の学校閉庁日を設定したり、ICT活用で会議時間の短縮や業務改善も図られており、今後

問 先生方のサービスマン残業解消策についての具体的取り組みは。

答 教育長 コロナ禍の影響もあり、労働時間の上限を超える教職員もいるが、長期休業期間中の学校閉庁日を設定したり、ICT活用で会議時間の短縮や業務改善も図られており、今後



▲感染予防対策のために空気清浄機を



▲多くの小鳥のさえぎりも楽しめる吉田川

問 農業委員会だけではなく、町で独自にホームページやチラシを使って町外の方々に耕作してもらうという方法をすべきでは。

答 農政商工課長 農業委員の意見も聞きながら、農地を求められた場合の対応について今後検討できればと思う。

問 地域活性化のための協定を結んだべガルタ仙台と明成高校を通じて耕作放棄地の情報を流すべきでは。

答 町長 遊休畑を利用する組織をつくり、そのまま放置しておいて荒らしてしまうことを避けたい。

問 ひとり親家庭の朝食欠食調査をすべきでは。

答 教育長 ひとり親に限

問 ひとり親家庭の朝食欠食調査をすべきでは。

答 教育長 ひとり親に限

災害対策調査特別委員会

5/25 第30回 早期完成を

中粕川地区復興まちづくり事業及び中村原地区災害公営住宅等について工事の進捗状況と今後の計画に関して、現地視察を行った。

▶ 進んでいる中粕川宅地造成



▶ 完成が待たれる公営住宅



6/6 第31回 利活用を考え早期復旧を

3月16日の福島県沖地震の災害状況の確認のため現地調査を実施した。

▶ 再被災の物産館2階



▶ 高所作業車による修繕



▶ 何れ所も割れてしまった梁



▶ 国会議員会館にて要望活動



国会に要望活動

5月30日に宮城黒川地方町村議会の正副議長が衆参両院で、管内町村の振興・発展に寄与することを目的として宮城県関係国会議員に対する要望活動を行いました。

議会の主な動き (4/1~6/30)

月日	用務	月日	用務
4/5	広報広聴常任委員会	5/11	宮城黒川地方町村議会議長会正副会長会議・監事会(仙台市)
4/6	春の交通安全運動開始式	5/17	宮城県町村議会議長会監事会・正副会長監事合同会議(仙台市)
4/7	議員全員協議会・議会運営委員会	5/20	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会総会(大崎市)
	議会改革調査特別委員会(議会基本条例に関する調査分科会)	5/23	宮城黒川地方町村議会議長会臨時総会(大和町)
4/8	大郷中学校入学式	5/24	議員全員協議会・議会運営委員会
4/11	第2回臨時会・議会改革調査特別委員会		議会改革調査特別委員会(議会のIT化に関する調査分科会)
	大郷小学校入学式	5/25	災害対策調査特別委員会・議会改革調査特別委員会
4/13	広報広聴常任委員会		広報広聴常任委員会
4/15	奨学資金貸与選考会	5/26	宮城県町村議会議長会臨時総会(仙台市)
4/18	広報広聴常任委員会	5/30	全国町村議会議長会正副議長研修会(東京都)
4/21	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議(仙台市)		宮城県関係国会議員へ要望活動(宮城黒川地方町村議会議長会)(東京都)
4/25	総務産業常任委員会	5/31	議会運営委員会
4/26	議員全員協議会・議会運営委員会	6/7~10	第2回定例会
	黒川地域行政事務組合議会臨時総会(大和町)	6/7	災害対策調査特別委員会
4/27	黒川地方市町村議会連絡協議会監事会・役員会(富谷市)	6/23	黒川地方市町村議会連絡協議会(富谷市)
4/28	第3回臨時会	6/24	宮城黒川地方町村長・議長懇話会(松島町)
	議会改革調査特別委員会(議会のIT化に関する調査分科会)	6/27	広報広聴常任委員会
5/9	教育民生常任委員会	6/28~30	宮城黒川地方町村議会議長会視察研修

第2回臨時会

4月11日

福島県沖地震による災害応急工事



▲地震により盛り上がった浄化槽(山崎分館)

令和3年度 専決処分の報告
【一般会計補正予算】
被害を受けた施設などの応急工事等に3808万円を追加し、歳入歳出それぞれ58億5076万円となる。
【戸別合併処理浄化槽特別会計】
町内約30力所の被害を受けた浄化槽に、625万円を追加した。
令和4年度 一般会計補正予算
公共土木施設・公共施設災害復旧事業に、5730万円追加し、歳入歳出それぞれ51億8730万円となる。
戸別合併処理浄化槽特別会計
被害を受けた浄化槽の復旧工事に4115万円追加した。

第3回臨時会

4月28日

災害公営住宅12月完成へ



▲始まった災害公営住宅建築

工事請負契約の締結(議案第44号)

事業名	業者名	金額	工期
災害公営住宅建設工事(中村地区)	熊田建業株式会社	1億2320万円	12月28日

国民健康保険税条例の一部改正(報告第6号)

	改正前	改正後
医療分基礎課税限度額	63万円	65万円
後期高齢者金等課税限度額	19万円	20万円

議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	議員名														
			吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦	
第2回臨時会	報告 報告第2号~4号		報告のみ														
	補正予算 一般会計(第1号) 51億8730万円(5730万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計 戸別合併処理浄化槽(第1号) 1億1086万円(4115万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第3回臨時会	承認 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	報告 報告第5号~6号		報告のみ														
	議案第44号 工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 継続:継続審査 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

次回定例会

予定 9月5日(月)から 午前10時~ 9月21日(水)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube(ユーチューブ)」にて、配信しています。下記のQRコードよりご覧いただけます。



臨時会

委員会

追跡レポート

倒壊危険住宅対策を

これまでの意見・提言等

- ・平成26年3月定例会一般質問より
- ・平成29年度各種会計決算審査意見書より
- ・平成30年9月各種会計決算審査意見書より
- ・令和元年6月定例会追跡レポートより

復興定住推進課

高齢化社会の進展などに伴い、適正な維持管理がなされていない倒壊危険住宅の増加が懸念されている。

庁舎内の関係部署と連携し、家屋の維持保全に対する所有者責任を明確化するとともに、倒壊危険住宅の所有者に必要な措置を講ずるよう指導等を行っている。

また、空き家が倒壊危険住宅となる前に、賃貸や売買等、利活用いただくため、家屋の所有者に対し、空き家・空き地バンクの制度等の周知に努めていく。

(議会広報202号追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

倒壊危険住宅については、所有者等に活用できる補助金の案内や相談を実施してきました。今後も相談や倒壊危険住宅の危険性、所有責任について指導していきます。
まちづくり政策課長



▲早い危険対策を

納税・徴収体制強化を

これまでの意見・提言等

- ・平成30年9月定例会徹底検証より
- ・令和元年9月各種会計決算審査意見書より
- ・令和2年9月各種会計決算審査意見書より

税務課

徴収体制強化を目的として専門の嘱託徴収員が早い段階で滞納者へ電話による催告を積極的に行っている。

また、税負担の公平性を確保するため、悪質な滞納者に対しては給与・預金等の差押えを行い滞納処分強化を図った。町税等収入未済額縮減対策委員会による夜間の訪問徴収など、全庁的な組織として、未納額縮減を目的として取り組んでいる。

(議会広報184号追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

常に、税務課職員間で連携・協力し、未納を未然に防げるような対応を心がけています。納期限内の納付案内や早期完納へ向けた丁寧な折衝を行い、滞納者には積極的な電話催告や臨戸訪問、必要に応じて預金・給与等の差押えを実施し、悪質な滞納者には法律に基づき毅然とした対応をしています。口座振替など納付方法の周知を徹底し、徴収率は年々上昇しています。より納税しやすい環境を整えるため、令和4年度よりコンビニ納付を導入し、さらなる徴収率向上を目指します。
税務課長

【主な税目の徴収率(%)】	平成27年度	平成30年度	令和3年度
市町村民税	92.4	97.4	98.4
固定資産税	93.0	94.6	96.8
軽自動車税	96.6	97.6	99.5
国民健康保険税	76.8	80.4	88.4
平均	89.7	92.5	95.8

教育民生 常任委員会

5/9

明日も行きたい学校へ



▲楽しいグループセッション(大郷小)

【調査の概要】

令和3年度より実施された「行きたくなる学校づくり授業」、令和4年度より正式に移行された「2学期制」の学校教育の取り組み状況について、教育長、学校教育課長、指導主事より説明を受け調査した。

【意見】

1. 行きたくなる学校づくり事業として、不登校の未然防止に「わかる授業づくり」、「居場所づくり」、「絆づくり」と全力で取り組んでいるが、目に見える成果が困難な事業でもある。
2年間の研究指定期間が終了しても子どもたちの幸せのために継続し推進すべきである。
2. 「2学期制」の実施は、先生方の授業充実に向けた対応に余裕が生まれることにより、児童、生徒とのふれあいの時間を多く生み出し、本町の教育理念である「心豊かでたくましく生きる人間の育成」につながるよう引き続き注力すべきである。
3. 子どもたちは、近年家庭や地域においても一人で過ごさざるを得ない環境にあり、他地区の子どもたちと触れ合う時間の増、体力向上を図るなど検討が必要である。

次回は

「高齢者等の福祉について」を調査します。

総務産業 常任委員会

4/25

(株)おおさと地域振興 公社の活性化を



▲公社活性化に向けて

【調査の概要】

道の駅2階において、(株)おおさと地域振興公社社長、支配人、駅長及び農政商工課課長出席のもと、公社活性化に関して説明を受け調査した。

【意見】

1. 道の駅2階の利用について、各種団体や町民も利用できるよう検討すべきである。
2. フードコートメニューは地場産品も取り入れ、メニューの充実が求められたい。
3. 物産館1階販売エリアのレイアウトについて、売り上げが伸びるよう常に改善し販売促進対策を図るべきである。
4. 開発センター加工施設の機械は、利用するのか、修理や処分するか検討されたい。
5. 産直友の会と意見交換も継続し、新しい層の開拓に努めるべきである。
6. 縁の郷を令和3年4月1日より管理運営している(株)ラトリエの野菜が道の駅で販売できるような取り組みを検討されたい。
7. 公社改善委員会を定期的に開催し、地域振興を図るべきである。

次回は

「過疎債並びに地域再生計画について」を調査します。

♪♪ おおさとHIPHOPダンススクール ♪♪

指導者 **永塚 いづみさん**
(えいつか いづみさん)
(大崎市古川)

スクールの紹介

2017年5月に開講、毎週月曜日(月3回) 18時〜19時まで大郷町文化会館にて練習。小学2年生〜中学2年生(大郷町の子どもたち5名、利府・松島町各2名)までの、ダンスの好きなメンバーが楽しく踊っています。大郷町はもちろん、近隣の市町村でのお祭りに参加。

昨年は、みやぎ県民文化祭に参加し好評を博しました。

なぜ、このスクールに入りましたか？
HIPHOPダンスは楽しい。自分を表現できるから、大好きです。(中学2年生)



初心者大歓迎!

HIPHOPダンスの魅力は？

体力の増進、脳の発達にも良く、学力向上にもつながります。

子どもたちに、自分を表現する楽しさを伝えたいです。

町に対して

練習する場所を提供していただき、とてもありがたいです。

今後は

子どもたちは皆真面目で素直。将来が楽しみな子どもたちでもあり、育てていきたいです。「かっこよく」踊りたい男の子も募集中です。

町村議会議員講座が開催されました

7月14日(木)
「議事機関としての質問・質疑のあり方とやり方」
講師：早稲田大学マニフェスト研究所 長内 紳悟氏

活動紹介

広報205号に掲載された池坊武田華陽社中京の会の生け花展が、6月19日に中央公民館にて開催されました。

町内外から約400名の方が訪れる賑わいを見せました。



▶町議員も生け花を体験しました

編集後記

「みんなの議会 おおさと」が、皆さまに届くころには、夏の真つ盛りで大変暑い日が続いていることかと思えます。

暑中お見舞い申し上げます。

さて、コロナ禍になって、2年がたちます。私たちの社会を大きく変えました。いつの間にか、その生活にも慣れ、日々生活を送っています。経済活動、スポーツ、様々なイベントも開催されるようになってきました。コロナに感染しても、飲み薬で治るような新薬が待たれるところでは、新型コロナと共に生きるウィズコロナ、3密を避け手洗いをキチンとすることが大事だと思います。 石垣 正博

広報広聴常任委員会委員

辞任 田中みつ子 委員

選任 石垣 正博 議員

広報広聴常任委員会

委員長	佐藤 耕大
副委員長	吉田 正文
委員	石垣 熱海
委員	石垣 和賀
委員	佐藤 若生
委員	牧 義直
委員	大博 義寛